

報告第31号

平成29年度一般財団法人宇治市体育協会経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、平成29年度一般財団法人宇治市体育協会経営評価について、別紙のとおり報告する。

平成30年9月18日提出

宇治市長 山 本 正

30字体協第38号
平成30年6月20日

宇治市長 山本 正 様

所在地 宇治市宇治琵琶45-14
宇治市生涯学習センター内

法人名 一般財団法人宇治市体育協会

代表者名 会長 平田 研一



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項に基づき、次のとおり報告します。

第1号様式

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	一般財団法人宇治市体育協会	設立年月日	昭和42年6月10日
一般財団法人への移行年月日			平成26年4月1日
基本財産	38,600千円 (移行前 38,600千円 うち 市出捐・出資額19,000千円 出資比率49.2%)		
設立目的	宇治市内の各種スポーツ関係団体の総合団体として、スポーツの普及・振興を図り、市民の体力増強と健全な精神を養い、健康で明朗な市民生活の形成に寄与することを目的とする。		

2. 役職員等の状況

		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	59	1	1	59	1	1	61	1	1
職員	管理職	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	一般職	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	2	0	1	2	0	1	2	0	1

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
宇治市民総合体育大会の開催	平成29年5月、協会加盟の24団体が一堂に会して51回目の総合開会式を開催した。各加盟団体では市民の参加を募り、12月まで8ヶ月間にわたり市内各地で23種目の競技大会を実施した。
京都府民総合体育大会への参加	京都府内26市町村が参加して実施され、宇治市は総合第3位であった。次年度は、念願の総合優勝を目指そうとしている。
国内スポーツ交流事業の実施	第25回記念大会として宇部市で開催され、宇治市から6競技種目、選手・役員102名を派遣した。参加した両市の選手・役員は、積み重ねてきた交流の絆の大きさを実感し、今後一層の交流を誓い合った。
宇治川マラソン大会への参画	第34回大会実行委員会へ参画し、2,560名の選手の参加申込があり、当日2,262名の選手の参加を得て、盛会裏に終了できた。特に、コース沿道町内会等からの苦情等もなく、宇治署との連携・協議調整面も順調に行えた。 また、大会当日は、733名の大会役員の皆さんの的確な指示・対応により、円滑な大会運営とすることができた。

4. 財務状況

1) 収支・正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収 入	29,780,392	31,184,417	29,204,166
収益事業収入等	9,389,905	10,412,250	7,612,922
市 支 出 金	20,390,487	20,772,167	21,591,244
人 件 費	14,864,254	14,929,253	15,153,620
事 業 費	5,526,233	5,842,914	6,437,624
支 出	23,917,793	26,555,666	24,678,081
人 件 費	14,864,970	15,092,394	15,154,094
事 業 費	9,052,823	11,463,272	9,523,987
当期収支差額	5,862,599	4,628,751	4,526,085
当期正味財産増減額	△18,306	△1,233,848	△102,666
期末正味財産合計額	44,462,599	43,228,751	43,126,085

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
資産合計	49,671,050	49,979,184	50,502,866
流 動 資 産	6,481,800	5,788,960	5,312,168
固 定 資 産	43,189,250	44,190,224	45,190,698
負債合計	5,208,451	6,750,433	7,376,781
流 動 負 債	619,201	1,160,209	786,083
固 定 負 債	4,589,250	5,590,224	6,590,698
正味財産合計	44,462,599	43,228,751	43,126,085
基 本 財 産	38,600,000	38,600,000	38,600,000
その他正味財産	5,862,599	4,628,751	4,526,085

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
補 助 金	16,464,847	17,047,227	16,869,764
委 託 料	2,400,000	2,400,000	2,400,000
その他 (分担金等)	1,525,640	1,324,940	2,321,480
計	20,390,487	20,772,167	21,591,244
貸 付 金	0	0	0
借入金残高 (期末)	0	0	0
市の債務保証残高 (期末)	0	0	0
市の損失補償残高 (期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
人件費比率	人件費計÷支出計	62.2%	56.8%	61.4%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	89.5%	86.5%	85.4%
流動比率	流動資産÷流動負債	1,046.8%	499.0%	675.8%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	—%	—%	—%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	市内の各種スポーツ関係団体の総合団体として市民スポーツ・生涯スポーツの普及振興と競技力の向上に向けて、各加盟団体が実施する各種事業の取り組みに対する支援をはじめ、事業の概要に記載している各種事業等を実施し、市民の体力増強と健康で明朗な市民生活の形成に大きな役割を果たしている。
効率性	A	人件費比率が平成 28 年度の 56.8%から 61.4%となった。 なお、協会では、事務量の大きなウエイトを占める宇治川マラソン大会（実行委員会形式で実施。第 34 回大会決算で 11,554 千円）、スポーツ少年団の運営費（平成 29 年度決算で 3,625 千円）を協会の決算額に含めていないため、この二つの事業費を決算額に含めて人件費比率を試算すると 41.4%となる。また、一般事務経費等についても一層の削減に努め、より効率的な運営を心掛けている。
組織運営健全性	B	平成 26 年度から、一般財団法人へと移行した。平成 29 年度は定款に基づき、会議は、理事会を年 5 回、評議員会を年 1 回開催し、事業計画・予算等及び事業報告・決算等について諮るとともに、定期的に監事による監査を受けている。一般財団法人への移行後、事業運営の透明性を一層高められるよう、諸規程の整備をはじめ、ホームページの刷新等により、積極的に情報の公開に努めていくことが必要と考えている。
財務健全性	B	独自の収益事業は実施しておらず、人件費を含めた事業費の 73.9%を市の支出金を財源としていることから、財務状況は健全で安定している。 しかし、今後、より安定的な自主財源の確保のための方策を検討し、宇治市からの財源依存体質を軽減できるよう努めることが重要課題であると考えている。 なお、会計処理については、平成 22 年度より会計システムを導入し、より適正な会計処理を行うべく改善を図っている。
総合評価	A	協会の各加盟団体では、各々組織的に整備され活発に活動を行っており、協会の各種事業についても、定款に基づき円滑に推進できている。 また、市民総体や府民総体などその事業の性格によるところもあるが事業費の大半を市の支出金に依存している状況については、基本財産の 50.8%を市民の協力を得て、独自で積み立ててきた実績を踏まえ、自主財源の確保を図る中で、所期の目的に沿って、スポーツを通じて市民生活に活力と潤いをもたらす事業等を推進していく一層の努力が必要と考えている。

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い